

## 現代人のお弁当事情に関するアンケート

調査概要：日本人にとって馴染みの深い「お弁当」に、現代人がどう向き合っているかを聴取

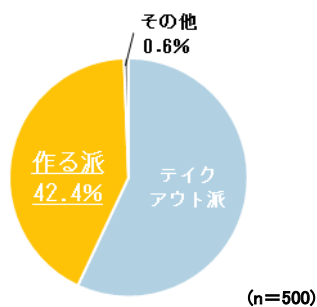
調査対象：20代～60代の500名（男性250名/女性250名）

調査手法：WEB調査

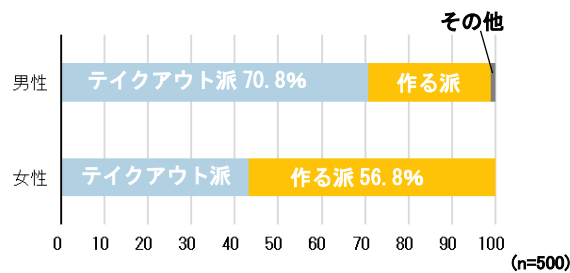
お弁当は「作るもの」（42.4%）と考える人よりも「コンビニエンスストアなどテイクアウトで買うもの」（57%）と答えた人のほうが上回りました。性別で見ると、男性の7割以上が「テイクアウト派」である一方、女性は「作る派」（56.8%）に軍配が上がりました。近年、料理が趣味の男性が増えたという話も耳にしますが、お弁当においては、まだ「買って済ませる」男性が多いことが分かりました。

Q. あなたにとって「お弁当」とは、主にどちらを指しますか？

<全体>

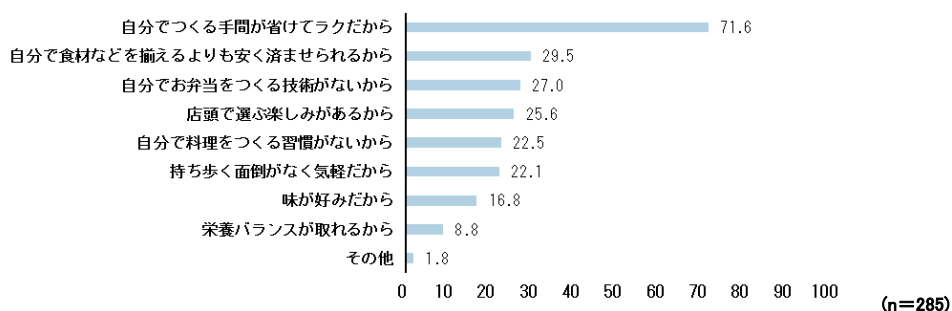


<性別>



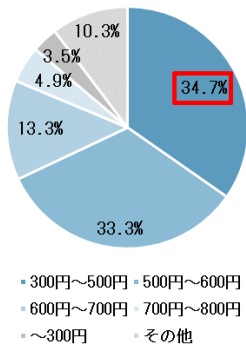
テイクアウト派の人にその理由を尋ねてみると、「自分でつくる手間が省けてラクだから」（71.6%）が最も多く、次に「自分で食材などを揃えるよりも安く済ませられるから」（29.5%）が続き、「手間の省略」と「コスト」が主な理由であることが伺えます。

Q. 「お弁当はテイクアウトで買うもの」と答えたのはなぜですか？

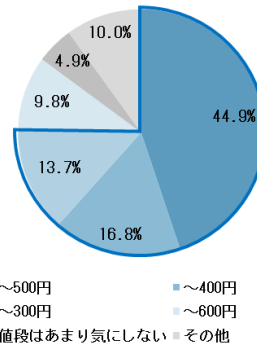


そんなテイクアウト派の人に1食あたりにかかる費用を尋ねたところ、「300円以上500円未満」（34.7%）が最多で、「500円以上600円未満」（33.3%）が続き、全体の7割以上が600円未満に抑えていることが判明しました。一方、「理想はいくらに抑えたいか」という質問には「500円以内」が75%以上を占め、600円と500円の間には100円の「理想と現実」の差がある様子が窺えました。

Q. おおよそお弁当 1 食あたりいくら使いますか? Q. お弁当の購入費を理想はいくらに抑えたいですか?



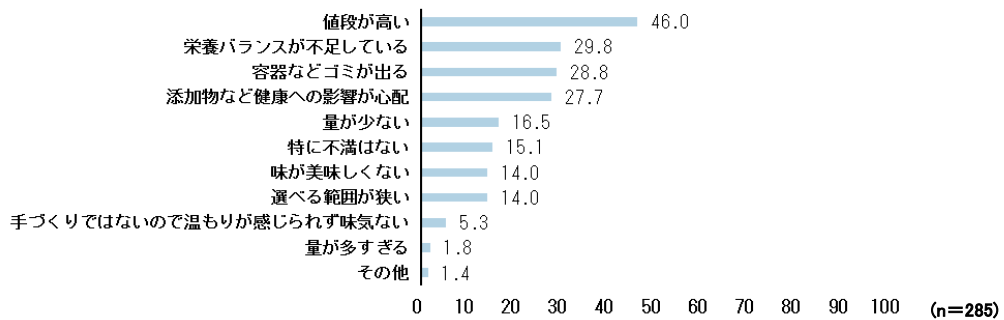
(n=285)



(n=285)

また、テイクアウト派の人がもつ不満について尋ねてみると、「値段が高い」(46%)がトップで、やはり「弁当はもっと安く抑えたい」というニーズが垣間見えます。次いで「栄養バランスが不足している」(29.8%)、「容器などゴミが出る」(28.8%)が上がりました。

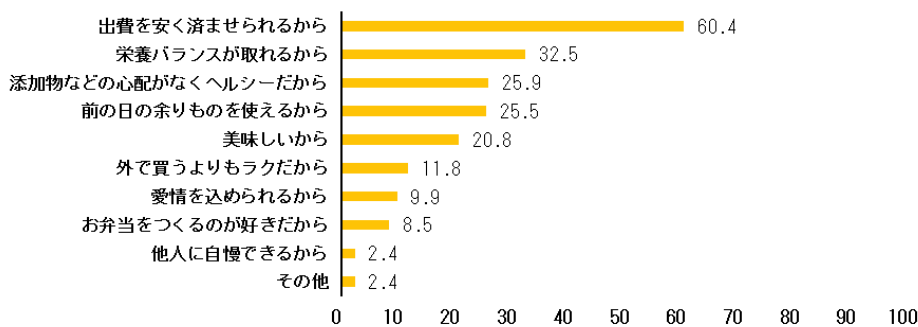
Q. テイクアウトについて不満はありますか?



(n=285)

反対に、お弁当「作る派」の人は、「出費を安く済ませられるから」(60.4%)が多数派で、「栄養バランスが取れるから」(32.5%)、「添加物などの心配がなくヘルシーだから」(25.9%)が続き、こちらも「コスト」と「栄養バランス」を重要視していることがわかります。

Q. 「お弁当は作るもの」と答えたのはなぜですか?

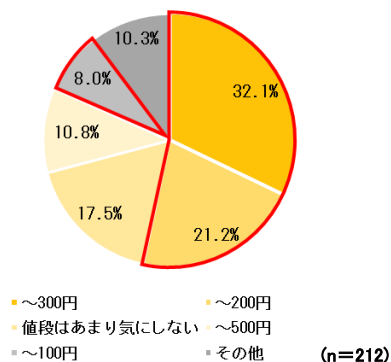
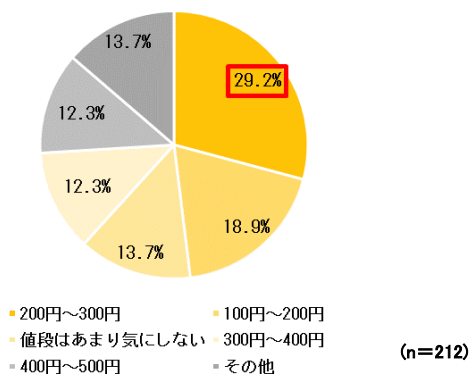


(n=212)

また、作る派の人に 1 食あたりにかかる費用を尋ねると「200 円以上 300 円未満」(29.2%)がトップで、「100 円以上 200 円未満」(18.9%)が続き、全体の 8 割近くが 500 円未満に抑えており、「作る派」の価格重視が窺えました。さらに、作る派の人に「理想はいくらに抑えたいか」と尋ねると全体の 6 割以上は「300 円以内」と回答しており、こちらもさらなるコスト抑制を望んでいることがわかりました。

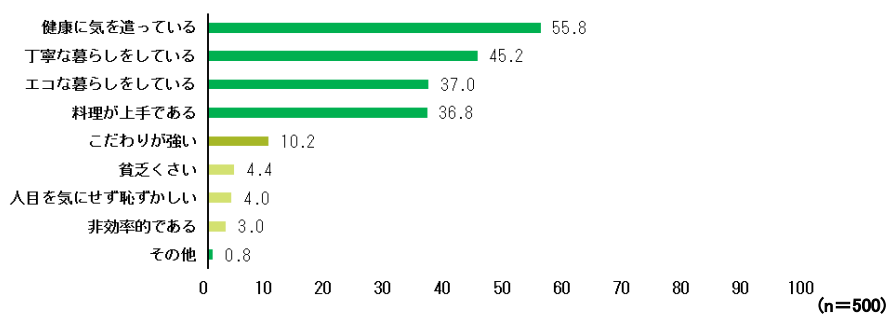
Q. お弁当を作るのに1食あたりいくら掛けていますか？

Q. お弁当の理想はいくらに抑えたいですか？



最後に、職場などに自作のお弁当を持ってくる人に対するイメージを「テイクアウト派」「作る派」双方に聞いてみると「健康に気を遣っている」(55.8%)、「丁寧な暮らしをしている」(45.2%)などポジティブなイメージが多く、「貧乏くさい」(4.4%)、「人目を気にせず恥ずかしい」(4%)といったネガティブなイメージを大きく引き離しました。

Q. 職場などに自分でつくったお弁当を持ってくる人について、どのようなイメージを持ちますか？



以上